

2. 「住民の皆さまを対象としたアンケート」集計結果まとまる！

設立準備会では、9月に地区内の世帯（1370世帯）を対象にアンケート調査を実施しました。このアンケートでは、現在の活動推進協議会についての質問と、今後の地域コミュニティ活動を検討するにあたって、地区内の課題やその課題解決に向けて必要と思われる取り組みについて伺いました。

アンケートにご協力いただいた皆さまには、数多くのご意見をいただきありがとうございました。皆さまから寄せられたご意見を参考にして、川原代地区における地域コミュニティ活動を検討してまいります。

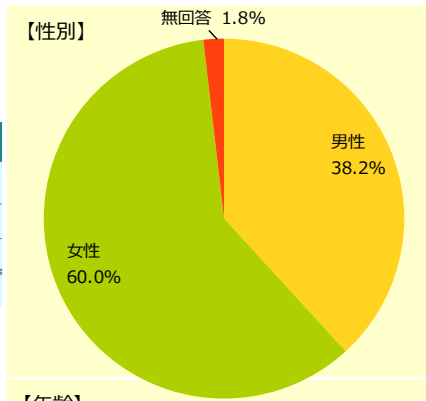
アンケート集計結果

※ 配付数 1,370 回答数 487 回答率 35.5%

【性別】

男性の回答者が186人（38.2%）、女性の回答者が292人（60.0%）であり、女性からの回答が多く寄せられました。

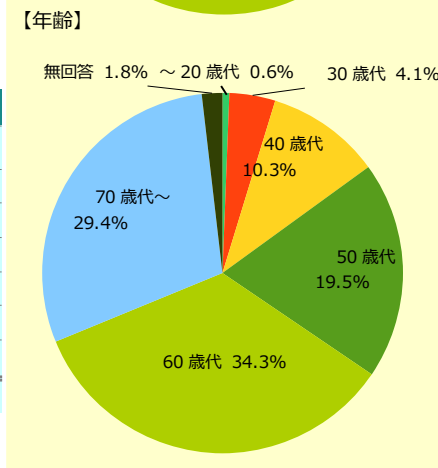
選択項目	回答件数	割合
男性	186	38.2%
女性	292	60.0%
無回答	9	1.8%
合計	487	100%



【年齢】

60歳代が167件（34.3%）、70歳代以上が143件（29.4%）となっており、これらを合計すると309件（63.7%）となり、60代以上の方からの回答が多数を占めました。

選択項目	回答件数	割合
～20歳代	3	0.6%
30歳代	20	4.1%
40歳代	50	10.3%
50歳代	95	19.5%
60歳代	167	34.3%
70歳代～	143	29.4%
無回答	9	1.8%
合計	487	100%



【問1】活動推進協議会の活動に参加したことはありますか？

「参加したことがない」が303件（62.2%）であり、「参加したことがある」（179件、36.8%）を大きく上回りました。

選択項目	回答件数	割合
参加したことがある	179	36.8%
参加したことがない	303	62.2%
無回答	5	1.0%
合計	487	100%

【問2】活動推進協議会の活動に参加した動機（きっかけ）は何ですか？（複数回答可）

「知人・友人の勧め・誘い」が74件（41.3%）、「区や自治会などの地域団体からの依頼」が69件（38.5%）、「広報紙（河原城）を見て」が57件（31.8%）で上位の回答となっています。自発的な参加よりも、知人・友人などからの誘いや依頼が参加のきっかけになっているようです。

選択項目	回答件数	割合
知人・友人の勧め・誘いがあった。	74	41.3%
区や自治会などの地域団体からの依頼があった。	69	38.5%
広報紙（河原城）を見て参加した。	57	31.8%
家族の勧め・誘いがあった。	12	6.7%
その他	9	5.0%
無回答	1	0.6%

【問3】活動推進協議会の活動に参加しない理由は何ですか？（複数回答可）

「仕事や家事などが忙しいから」が155件（51.2%）と半数を超えました。この一方で、「活動推進協議会という組織があること自体知らなかった」90件（29.7%）、「活動推進協議会は知っているが、どのような活動をしているのかは知らなかったから」66件（21.8%）を合わせると156件（51.5%）も半数を超えました。

選択項目	回答件数	割合
仕事や家事などが忙しいから。	155	51.2%
活動推進協議会という組織があること自体知らなかった。	90	29.7%
活動推進協議会は知っているが、どのような活動をしているのかは知らなかったから。	66	21.8%
活動推進協議会の活動に参加したい活動がなかったから。	38	12.5%
その他	31	10.2%
自分や家族とのプライベートの時間を大切にしたいから。	30	9.9%
地域の人たちと一緒に活動するのは面倒だから。	12	4.0%
無回答	5	1.7%

【問4】活動推進協議会発行の広報誌「河原城」（各戸配布）はご覧になっていますか？

「毎回見ている」だけでも269件（55.2%）と半数を超えており、「時々見ている」（169件、34.7%）を合わせると438件（89.9%）と大多数を占めています。広報紙「河原城」は地域住民に定着した広報紙といえるようです。

選択項目	回答件数	割合
毎回見ている	269	55.2%
時々見ている	169	34.7%
見ていない	31	6.4%
無回答	18	3.7%
合計	487	100%

【問5】川原代小学校区における地域課題は何だと思いますか？（複数回答可）

上位から見てみると、「犬の糞の始末をせずに散歩する人がいる」（203件、41.7%）を第1位に、「子どもが少ない」（189件、38.8%）、「災害（地震、水害、火災など）に対し、地域として備える必要がある」（174件、35.7%）、「一人暮らしの高齢者（または、高齢者だけの世帯）が増え、安否が心配である」（140件、28.7%）、「道路が狭い。見通しが悪い」（128件、26.3%）と続いています。

なお、平成19年度に実施した地域福祉計画ワークショップにおける協議結果（「地域課題とその対応策」）では、今回のアンケート結果と同様の傾向である地域課題があげられていました。

※上位5回答

選択項目	回答件数	割合
犬の糞の始末をせずに散歩する人がいる。	203	41.7%
子どもが少ない。	189	38.8%
災害（地震、水害、火災など）に対し、地域としての備えをする必要がある。	174	35.7%
一人暮らし高齢者（または、高齢者だけの世帯）が増え、安否が心配である。	140	28.7%
道路が狭い。見通しが悪い。	128	26.3%

【問6】これらの課題を解決するため、地域としてどのような活動を行えば良いと思いますか？（複数回答可）

「住民同士のあいさつ・声かけ運動」が223件で45.8%と半数近くを占めました。次に「高齢者世帯への見守り（声かけ）活動」（175件、35.9%）、「住民が気軽に立ち寄れる居場所作り」（161件、33.1%）が続いており、高齢化社会の進展やご近所づきあいの希薄化などを背景に、地域での「つながり」や「交流」をテーマとした活動が求められていると思われます。

※上位5回答

選択項目	回答件数	割合
住民同士のあいさつ・声かけ運動	223	45.8%
高齢者世帯への見守り（声かけ）活動	175	35.9%
住民が気軽に立ち寄れる居場所作り	161	33.1%
災害に備えて防災訓練の実施	124	25.5%
不法投棄や犬の糞、ごみ出しマナーへのパトロール活動	118	24.2%

【問7】川原代小学校区における活動が活発に行われるためには、どのような取り組みが必要だと思いますか？（自由記述）

代表的な意見

- 近隣者同士のあいさつ運動からだと思います。さらには、活動内容を広く広報し知ってもらうこと。可能であれば、小学校の教育の場で必要性を教育し、人のつながり、和の大切さを教育していくことが世の中に必要とされるような気がします。（小屋）
- 小学校のグリーンカーテンや夏祭り、ならせもちや歩け歩け・・・と色々行事をして頂き、子ども達にとってとてもいい環境だと、とてもありがたく思っております。（紅葉内）
- 去年、出産をして現在10ヶ月の子どもがいます。よく散歩するのですが、小さな子をあまり見かけなく、ママ友も近所で作る機会がなく、子育てするのに、正直、寂しさを感じております。川原代コミュニティセンターなど近い所で小さいお子さんを育てる方が集まれるイベントや活動があればいいと思うのですが・・・。（小屋）